

在宅生活を 続けるための ガイドブック



医療・介護
従事者向け

令和4年度 在宅医療・介護連携センター事業
うきは市 ・ 浮羽医師会

はじめに



あなたは人生最期の時をどこで過ごしたいですか？

「住み慣れた環境で過ごしたい」

これは多くの人々に共通する思いです。令和元年の内閣府の調査において、60歳以上の方に「万一治る見込みがない病気になった場合、最期を迎えたい場所はどこですか」と聞いたところ、約半数の方が「自宅」と答えています。しかし、現実には自宅で最期を迎えることができる方は2割以下となっています。

多くの方が最期の時を自分の家で家族とともに過ごしたいと思う一方で、自宅では何らかの「困難」があり、入院先の病院で亡くなられています。現在は、在宅医療・介護の関係機関との連携がとりやすい状況にはなっていますが、実際に医療や介護を受ける住民ニーズの把握や情報提供が少ない状況であることが課題として考えられます。

このような状況の中、誰もが住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するため医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進することを目的として「在宅医療・介護連携推進事業」を実施しています。

地域における社会資源を正確に把握し、住民ニーズにもとづき地域の目指すべき姿はどのようなものかを共有し、医療・介護関係者との協働・連携を円滑に進めることで、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を推進しています。

この冊子は最期まで住み慣れた家、住み慣れた地域で過ごすために、私たち医療従事者、介護従事者が知っておくべきことをまとめたものです。安心して在宅での医療や介護に関わることができるように、ご家族やご自身が穏やかにその時を迎えることができるように、ぜひご一読ください。



目次

在宅療養の事例 ～Aさん、Bさん、Cさんの場合～

骨折	1
看取り	3
認知症	5

第1章 在宅生活を続けるための医療

在宅医療を支える人たち	7
かかりつけ医を持ちましょう！！	8
訪問診療とは	9
訪問歯科診療とは	11
訪問薬剤管理指導とは	13
居宅療養管理指導とは	15
訪問看護とは	16
リハビリテーションとは	19
訪問栄養食事指導とは	23
認知症とは	25
緩和ケアとは	28
ACPとは	29
在宅での看取りとは	31
在宅医療・介護連携事業とは	33
とびうめネットとは	35

第2章 在宅生活を続けるための介護

地域包括ケアシステムとは	37
地域包括支援センターとは	38

介護サービスを利用するまでの流れ	40
総合事業認定・利用申請の流れ	41
要介護認定までの流れ	43
介護サービスとその内容	45
施設サービスの概要	47
うきは市の地域支援事業について	49

第3章 在宅生活を続けるための福祉

地域福祉を支える人・団体・取り組み	53
社会福祉協議会とは	56
障がい者福祉とは	60
成年後見制度とは	64
日常生活自立支援事業とは	65
生活福祉資金貸付制度について	66

付録

在宅療養の費用	69
各種相談窓口	76
連絡先一覧	77



〈免責事項〉

記載の内容については、予告なく変更されていることがありますので、直接各施設・行政機関等にご確認ください。掲載されている情報によって被った損害・損失に対して、一切の責任を負いません。

令和4年度

在宅医療・介護連携センター事業

在宅生活を続けるためのガイドブック
～医療・介護従事者向け～

令和5年4月1日 発行

発行者 うきは市
一般社団法人 浮羽医師会

編集 うきは市
一般社団法人 浮羽医師会

印刷 有限会社 内野印刷